

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

牛久町を走る茨城国体の旗・炬火リレー

昭和49(1974)年10月14日撮影



明治・大正・昭和の「昔のうしく」の写真を募集しています。

写真は田宮交差点で撮影された茨城国体秋季大会の旗・炬火リレーの様子です。リレーは国体開会式前に、3コースに分かれて県下一斉に行われました。

牛久町は炬火と大会旗を茎崎村から受け継いで、江戸崎町へ引き継ぎました。筑波山頂で集火鏡を使い採火した炬火を一目見ようと、引継所付近には約5000人の関係者や町民がかけつけました。炬火を先頭に、一隊23人編成のリレー走者は、14キロのコースを1時間30分にわたって元気に走り続けました。

里山の樹木

問 都市計画課

☎内線2524

結実期の樹冠：牛久自然観察の森
平成24年10月8日撮影



一對の枝の刺：
牛久自然観察の森
平成14年8月6日撮影

第21回

サンショウ

ミカン科の高さ1.5〜3mの落葉低木。北海道〜九州の林内に分布し、市内では雑木林などに生育。一部植栽。枝や葉の基部に一對の刺があるのが特徴(枠内写真)。同属のイヌサンショウは互生で、刺の無い品種もある。葉は長さ5〜

18cmで9〜19枚の小葉からなり、裏面に油点があり、芳香を放つ。枝先の1〜3cmの円錐花序に小さな花を多数咲かせる。雌雄異株。雄花は花山椒として食用にされる。雌花は二本の雌しべが角のように突き出す。果実は径5mmほどで赤褐色に熟し、割れて光沢のある黒色の種子を出す。果実は香料や薬用に使用。名前は辛い味に由来する。

※牛久の里山樹木ハンドブック40ページに掲載。本に関するお問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。
【資料提供】NPO法人うしく里山の会 樹木リサーチ(文章：伊藤誠、写真：渡辺泰)

文芸さろん | 長月 |

小野川の左右に光る稲穂かな
轉やアトリエの花絵の具匂う
ラベンダー香り背にうけ朝の道
稀勢の里九月場所頑張つて
空高く牛久大仏世界一
二の池や夜の星空輝いて
水辺にうつる窓ガラス
炎天の木陰もとめて立ち寄れば
カサブランカの香り濃し
草原は万の光や朝の露

サッコ
岡村さん
和多田さん
月田さん
山崎さん
枝さん
草葉
京

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など

【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしく文芸さろん」係 FAX: 873-2512

E-mail: kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp

【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)